

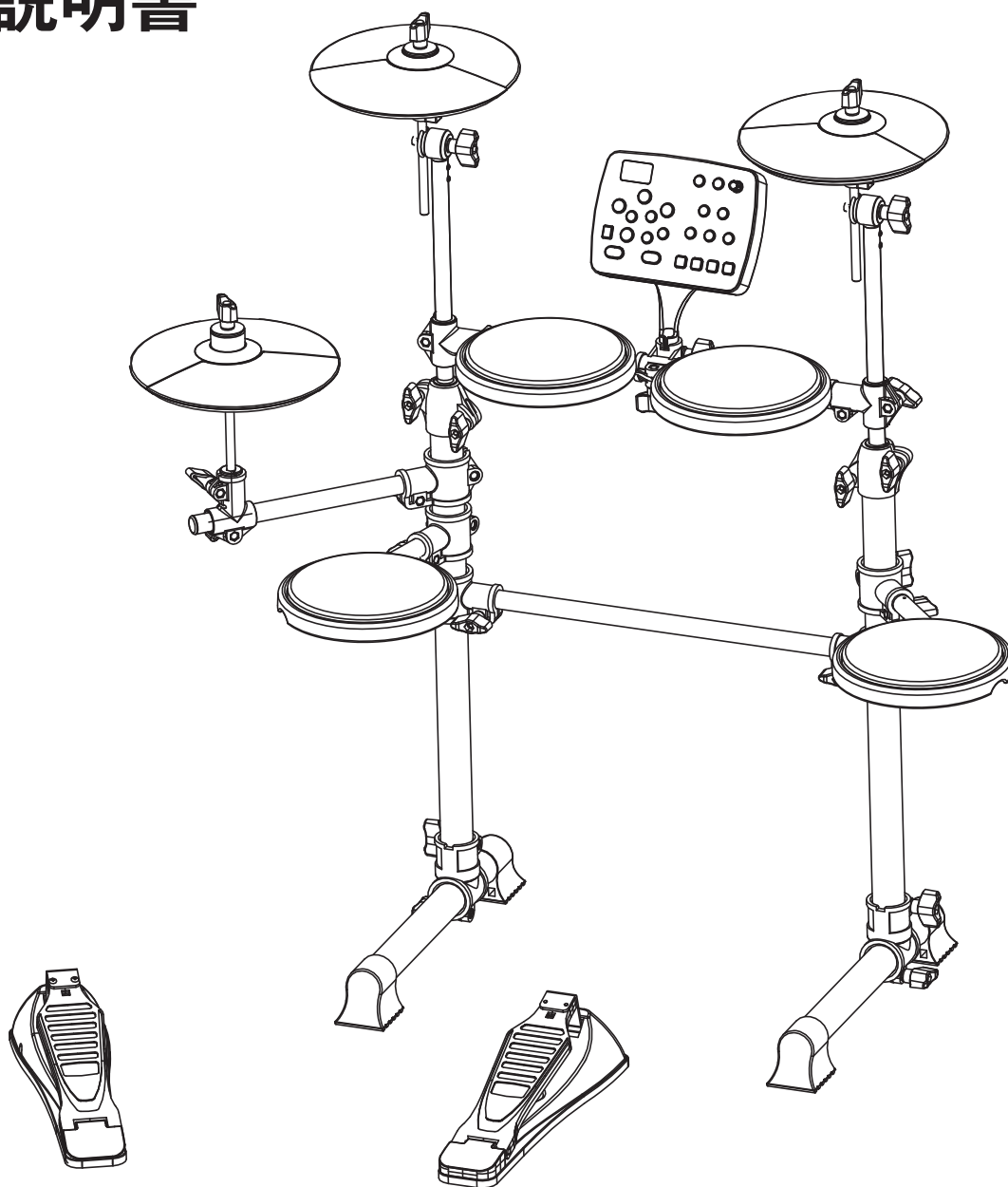
PLAYTECH

Electronic Drum

PDS150II

取扱説明書

Ver. 1.0



使用上の注意

使用前に本書をよく読み、いつでも手に取れる場所に保管してください。
本書に記載されているすべての警告を理解し、指示に従ってください。

以下のような取り扱いとは、予期せぬ故障や事故の原因となる恐れがあります。

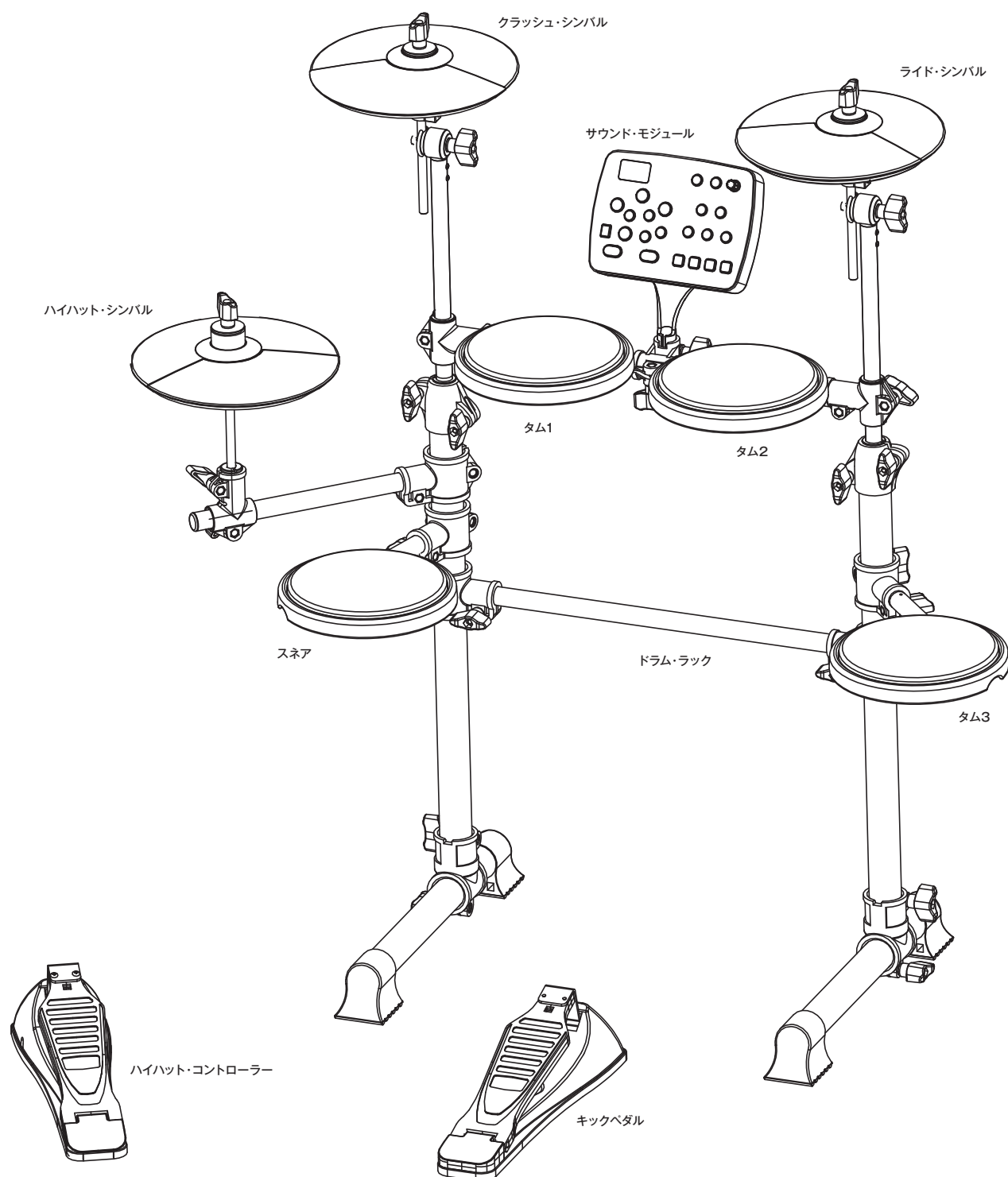
- ・本製品の分解、改造、修理
- ・本製品を落下させたり、重量のあるものを乗せるなどの衝撃・負荷
- ・ケーブル類を無理に曲げたりするなどの衝撃・負荷
- ・液体や異物の本製品への侵入
- ・水回りや雨天の野外など湿気の高い場所での使用・保管
- ・直射日光や暖房器具の前など高温になりやすい場所での使用・保管

本製品に異常が発生した場合、電源コードをコンセントから外し、販売店に連絡してください。
仕様は予告なく変更されることがあります。

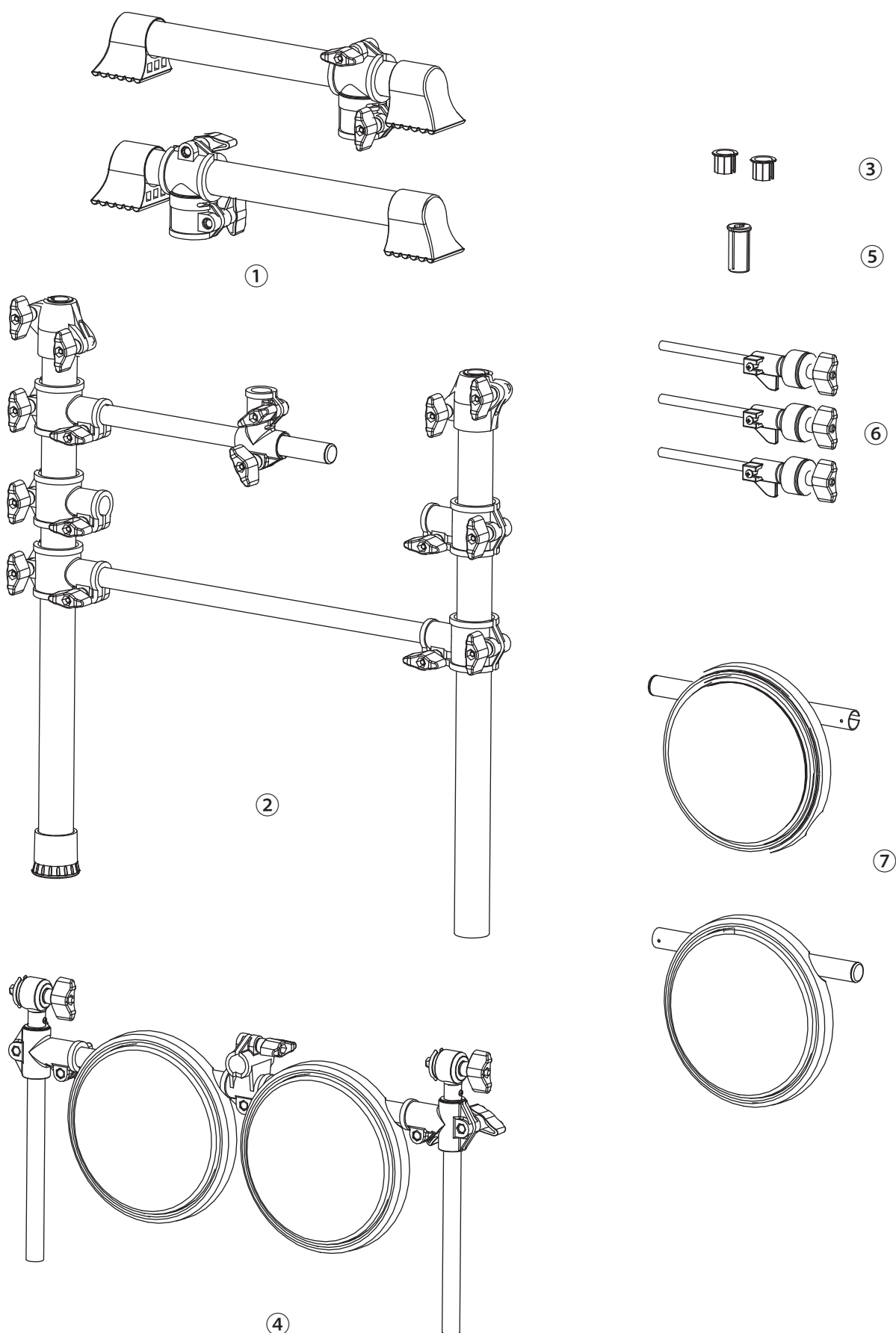
組み立て

下図は、ドラムの組み立てが完了した状態です。

※電源ケーブルと信号ケーブル類は図に表記されていません。

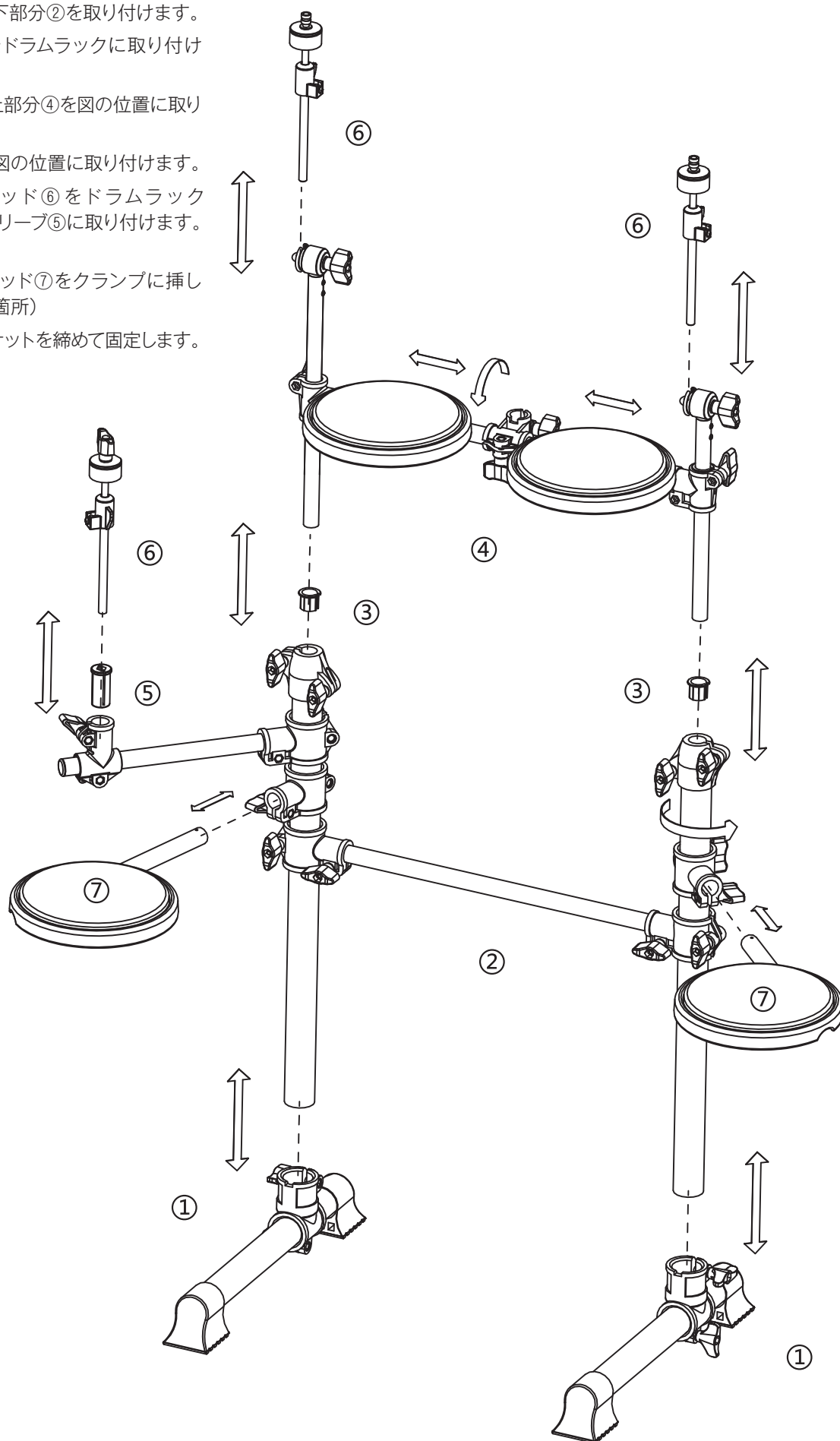


次ページで使う組み立てパーツ一覧

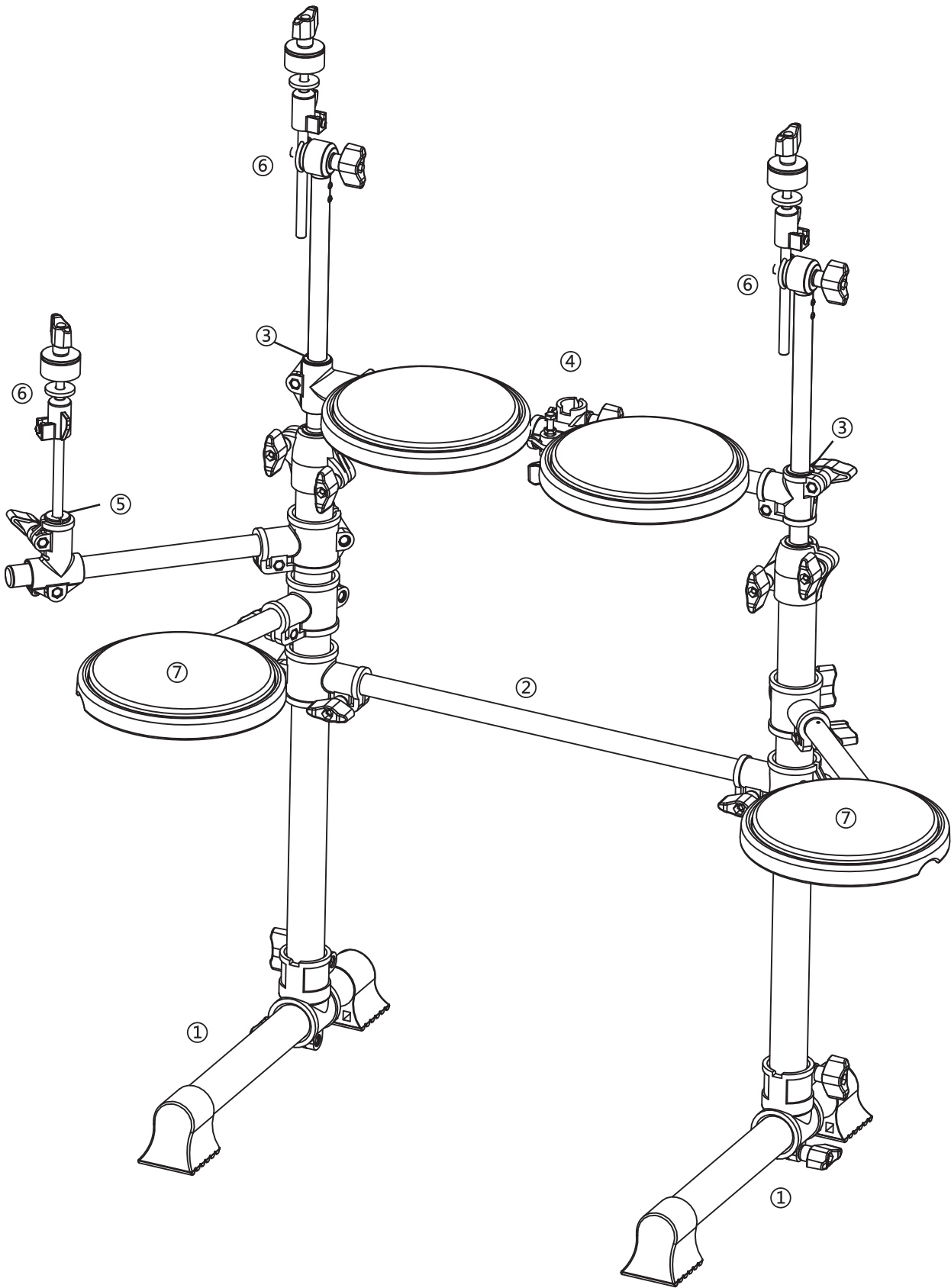


1. 足台①を床に設置します。
2. ドラムラック下部分②を取り付けます。
3. スリーブ③をドラムラックに取り付けます。(2箇所)
4. ドラムラック上部分④を図の位置に取り付けます。
5. スリーブ⑤を図の位置に取り付けます。
6. シンバルロッド⑥をドラムラック上部分④とスリーブ⑤に取り付けます。(3箇所)
7. 図に従ってパッド⑦をクランプに挿入します。(2箇所)

最後に全ての蝶ナットを締めて固定します。

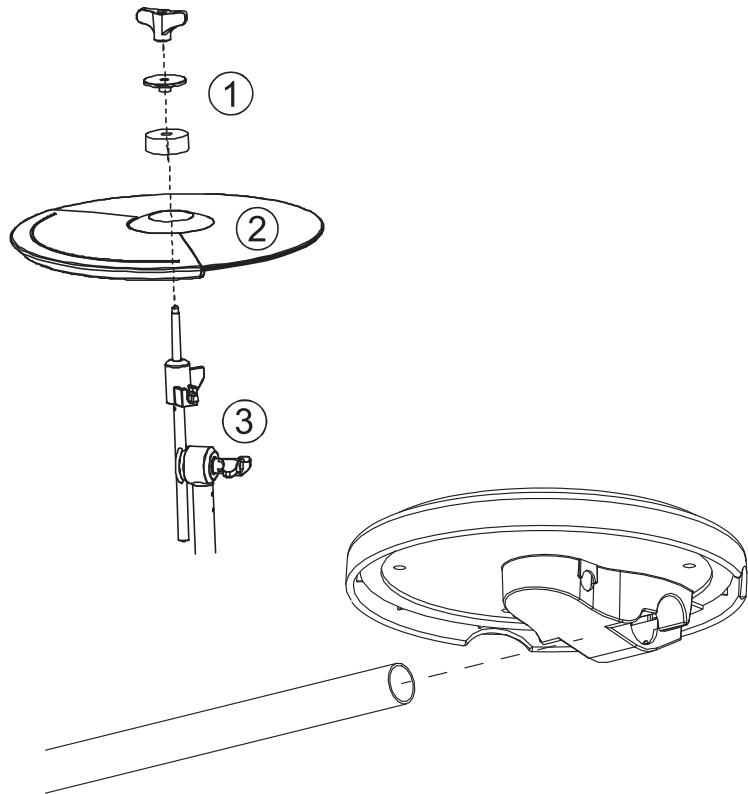


組み立て後の仕上がり見本



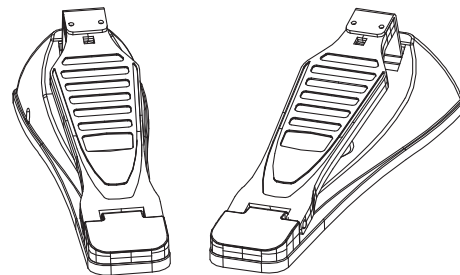
シンバルの取付

1. 蝶ナット、ワッシャー、フェルトパッドをシンバル・ロッドから取り外します。
2. シンバルをロッドに取り付けてから(1)で取り外した蝶ナット、ワッシャー、フェルトパッドを取り付けます。
3. ロッドの角度と高さを調整して蝶ナットを締めて固定します。



パッドの取付

1. ロッドをクランプに差し込みます。
2. パッドの位置を調整します。
3. クランプの蝶ナットを締めて固定します。

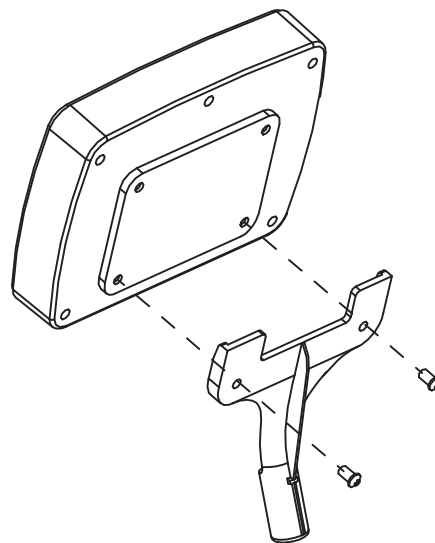


キックペダルの設置

ハイハット・コントローラー(HH-CTRL)を左足側に、キックペダル(KICK)を右足側に設置します。

サウンド・モジュールの取付

1. サポート・ボードにサウンド・モジュールを取り付けてネジで固定します。
2. 背面にあるロッドをクランプに差し込み、蝶ナットを強く締めます。

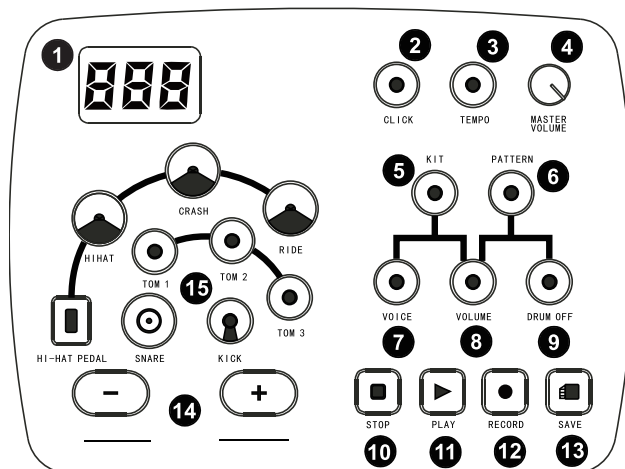


取り付けの最終調整

最後にアーム、クランプ、ロッドを演奏しやすい位置に調整してください。

サウンドモジュール

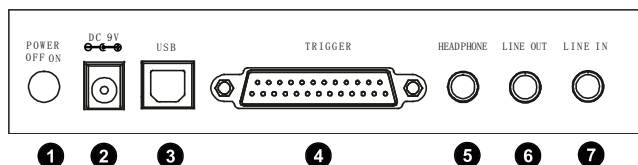
- ① **ディスプレイ:** LEDディスプレイです。キット番号、ボイス番号などを表示します。
- ② **CLICK:** メトロノームをオン/オフします。
- ③ **TEMPO:** メトロノームのテンポを変更します。レコーディングやパターン演奏にも使用します。
- ④ **MASTER VOLUME:** 音量を調整します。
- ⑤ **KIT:** ドラムキットを選択するモードに入ります。
- ⑥ **PATTERN:** パターン演奏モードに入ります。
- ⑦ **VOICE:** ボイスを選択するモードに入ります。
- ⑧ **VOLUME:** ボリュームを調整するモードに入ります。
- ⑨ **DRUM OFF:** パターン演奏をミュートします。
- ⑩ **STOP:** パターン演奏、レコーディングを停止します。
- ⑪ **PLAY:** パターンを再生します。
- ⑫ **RECORD:** レコーディング・モードです。
- ⑬ **SAVE:** レコーディングと設定を保存します。
- ⑭ **+/-:** パターン選択やボリューム設定など、様々な機能で使用します。
- ⑮ **パッド選択:** パターンを編集する時に、パッドを選択して、ドラムパッド演奏のパターンを作ります。



リセット: +/-ボタンを同時に押しながら電源を入れると“rSE”が表示され、全ての設定が工場出荷時(初期設定)に戻ります。録音された演奏は消去されます。

バックパネル

- ① **POWER OFF ON:** 電源をオン/オフします。
注意: 回路を正しくリセットするために、電源をオフした後、5秒以上待ってからオンにしてください。
- ② **DC 9V:** DCアダプターを接続します。
- ③ **USB:** 本機とPCをUSBケーブルを使用して接続します。PCは本機をオーディオ・デバイスとして認識します。
- ④ **TRIGGER:** このコネクタからパッドとハイハット・コントロール・ペダルにトリガー信号を送ります。各キットからのケーブルは1つにまとめられて、このコネクタに接続されます。
- ⑤ **HEADPHONE:** ヘッドフォンを接続します。
- ⑥ **LINE OUT:** ステレオ・オーディオ信号を家庭用ステレオ、PAシステム他各種アンプ用に出力します。ステレオ出力です。
- ⑦ **LINE IN:** CDプレイヤー、MP3プレイヤーなどを接続するステレオ・オーディオ入力端子です。本機のサウンドと外部オーディオ・信号をミックスします。



演奏

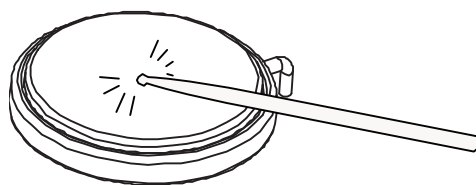
1. 本機に接続されている外部オーディオ・デバイスの音量を下げます。
2. 本機の電源ボタンを入れます。
3. 外部オーディオ・デバイスの音量を上げます。
4. ドラムパッドを叩いて音量を調整してください。

ドラムパッド演奏

全てのドラムパッドには強度センサーが搭載されています。強く叩くと大きな音が出ます。

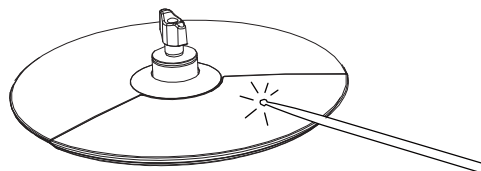
パッド(スネア、タムタム、フロアタム)

タムの中心部分を叩くと音が出ます。



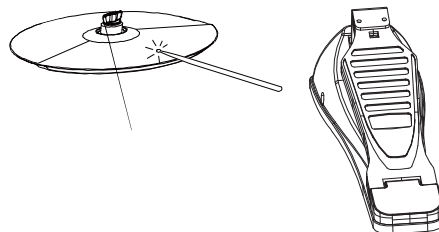
シンバル

クラッシュ&ライドパッドのゴム部分を叩くとシンバルの音が出ます。



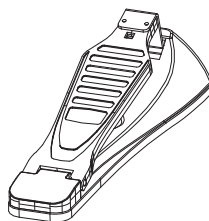
ハイハット

1. ハイハット・コントロール・ペダルを踏まずにハイハット・パッドを叩くとオープン・ハイハット・サウンドが出ます。
2. ハイハット・コントロール・ペダルを踏み込んでハイハット・パッドを叩くとクローズ・ハイハット・サウンドが出ます。
3. ハイハット・パッドを叩きながら、ハイハット・コントロール・ペダルをゆっくりと踏み込むと、オープン・サウンドからクローズ・サウンドに変わります。
4. ハイハット・コントロール・ペダルを強く踏み込むと、ハイハット・ペダル・サウンドが出ます。



キックドラム

キックドラム・ペダルを踏み込むとキックドラム・サウンドが出ます。



マスターボリューム

マスターボリュームつまみを回して、マスターボリュームの調整をします。時計回りに回すとボリュームが上がり、反時計回りに回すと下がります。

ドラムキット

本機には20種類のドラムキット・プリセットが搭載されています。それぞれのドラムパッドには異なる音色が割り当てられており、それらを組み合わせたキットがプリセットとして用意されています。演奏スタイルに合わせて、各キットを使い分けることができます。また、各キットは変更して保存することができます。電源投入後、キットモードが自動的にオンになり、キットボタンが点灯してキット番号がディスプレイに表示されます。他のモードで操作中でも、キットボタンを押すと、キットモードに入ることができます。

キット選択

「+」又は「-」ボタンを押して01-20の中からキットを選択します。キットモードに入ると前に設定したキットの番号が表示されます。初期設定では01が選択されます。

キットの変更

キットを選択した後、そのキットにアサインするドラムパッドのボイスとボリュームを変更して保存できます。

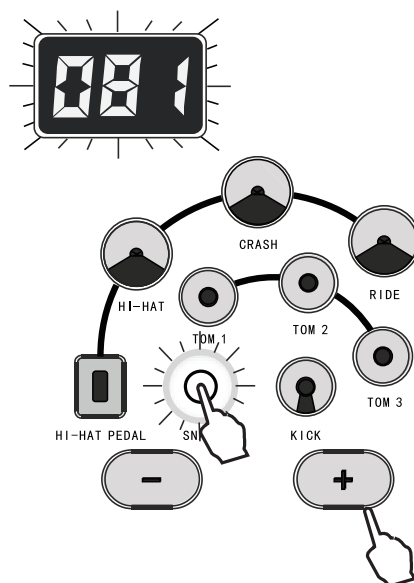
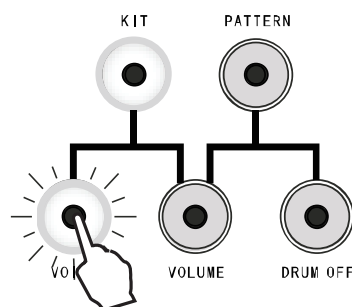
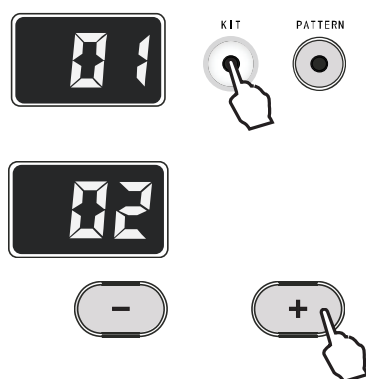
ドラムパッドのボイスとボリュームの変更

「VOICE」ボタンを押すとバックライトが点滅します。次に選択するドラムパッドを押すと、バックライトが点滅しボイスが聴こえます。スネアにはヘッドとリムがあり、ハイハットにはオープンとクローズがあるので、もう一方を選択するにはもう一度ボタンを押します(ボタンのバックライトの色が変わります)。

ボイスの変更

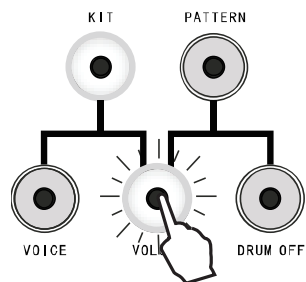
VOICEボタンと選択したドラムパッドが点滅しているときに、ボイスの番号がディスプレイに表示されます。「+」「-」ボタンを使って1-209の範囲からボイスを選択します。「+」「-」ボタンを同時に押すと初期設定値に戻ります。アサイン可能なボイスがVOICE LIST(巻末)に表記されています。作成したボイスを聴くには、ドラムパッドを叩くかディスプレイのパッドボタンを押します。同様に別のドラムパッドを押してボイスを設定します。

ヒント: 「+」「-」ボタンを長押しすると、数値が連続的に変わります。

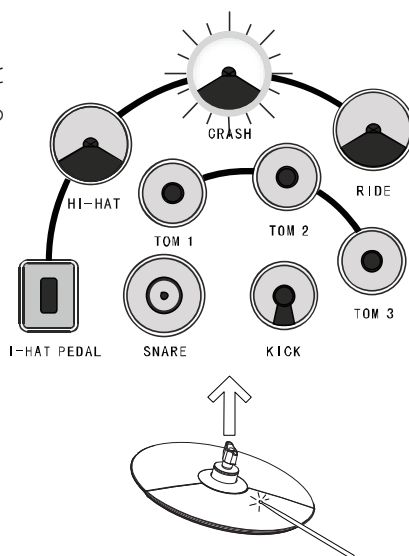


VOLUMEの変更

「VOLUME」ボタンを押すと、バックライトが点滅します。ディスプレイに現在設定されているボリュームが表示されます。「+」「-」ボタンを使用して0-127の範囲でボリュームを設定します。

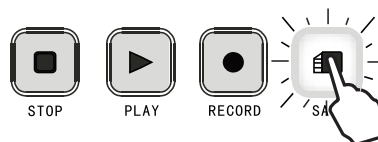


ヒント: 直接、ドラムパッドを叩くことにより、ディスプレイのパッドを選択することもできます。



ボイスとボリュームの変更モードを終了する

点滅している「VOICE」又は「VOLUME」ボタンをもう一度押すと、キットモードに戻り、ボタンのライトは消灯します。この状態で本体の電源を切ると変更は失われます。必ず「SAVE」ボタンを押してから電源を切るようにしてください。



パターン演奏

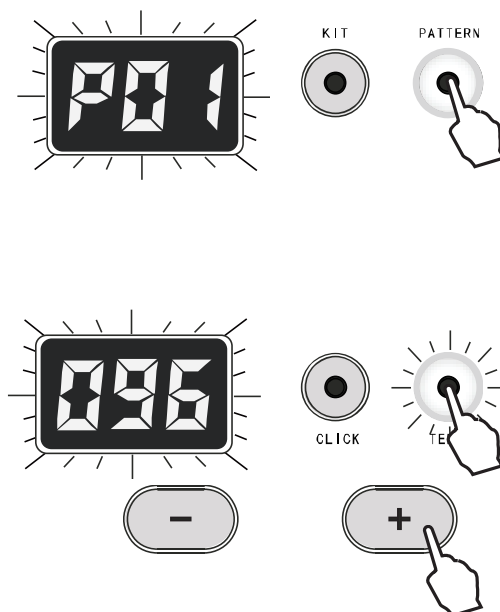
本機には50種類のプリセット・パターンが搭載されています。

パターンを再生する

「PATTERN」ボタンを押すとパターン演奏モードがオンになり、バックライトが点灯します。ディスプレイにPで始まる番号が表示され点滅します。「+」「-」ボタンを使用してパターンを選択します。「PLAY」ボタンを押してパターンを再生します。再生中に演奏しているパッドボタンが点灯し、ディスプレイに再生時間が表示されます。

パターンは、「STOP」ボタンが押されるまで繰り返し再生します。再生中でも「+」「-」ボタンを使用して再生するパターンを変更できます。

さらに、「TEMPO」ボタンを押してテンポを変更することができます。「+」「-」ボタンを使用して40-240の範囲でテンポを変更できます。「+」「-」ボタンを同時に押すとテンポの値は初期値に戻ります。3秒待つか、「TEMPO」ボタンをもう一度押すと、ディスプレイに再生時間が表示されます。

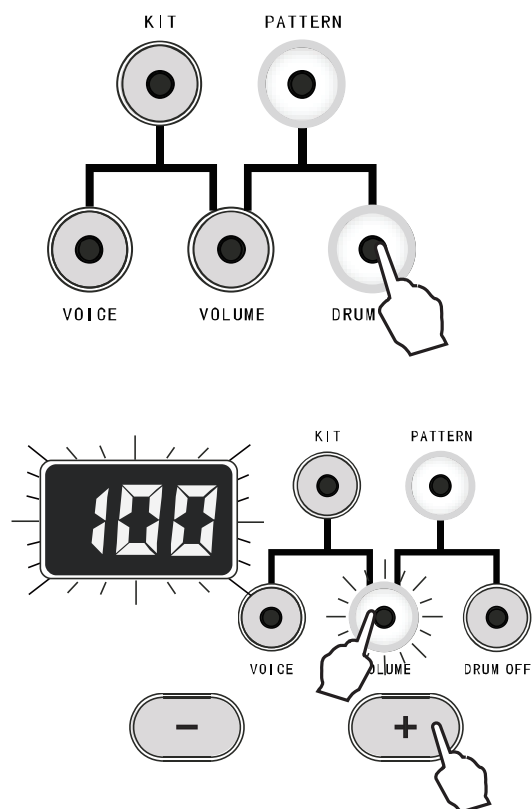


パターンとドラム同時演奏

パターンの再生中にドラム演奏もできます。「DRUM OFF」ボタンを押して、ドラムパターンをミュートし、自分でBGMに合わせてドラム演奏をすることもできます。

パターンのボリュームは調整可能です。「VOLUME」ボタンを押すとバックライトが点滅し、ディスプレイに現在のボリュームが表示されます。「+」「-」ボタンを使用してボリュームを調整します。3秒待つ、あるいは「VOLUME」ボタンを再度押すと、ディスプレイに再生時間が表示されます。

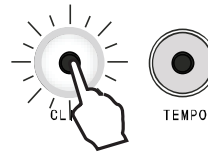
「KIT」ボタンを押すか「PATTERN」ボタンを再度押すことでキットモードに戻ります。



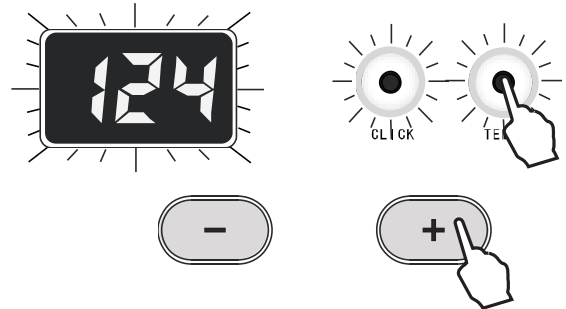
メトロノーム

「CLICK」ボタンを押してメトロノームをオンにします。ボタンのバックライトが現在のテンポに合わせて点滅します。もう一度押すと停止します。

注意: パターン再生中はメトロノームの音は出ません。ボタンのバックライトは点滅します。



メトロノームのテンポは「TEMPO」ボタンを押して設定できます。「+」「-」ボタンを使用して40-240の範囲で設定できます。「+」「-」ボタンを同時に押すと、初期設定(120)に戻ります。3秒待つか、「TEMPO」ボタンを再度押すことによって、ディスプレイは前の画面に戻ります。



ヒント: 「+」「-」ボタンを長押しすると数値は連続的に変わります。これにより、テンポを素早く変更できます。

録音

演奏を録音し、パターン51として保存できます。録音は、プリセットのパターンに合わせても行えます。録音する前に、ドラムキットの選択、メトロノームとテンポの設定、パターンの選択など、必要な設定を行う必要があります。

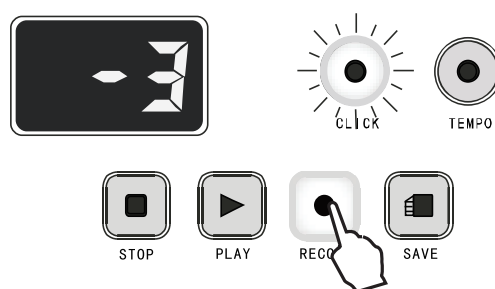
フリーレコーディング

- 1.KITボタンを押す
- 2.RECORDボタンを押す
- 3.4拍のカウントダウン後、録音が始まります

パターン録音

- 1.PATTERN ボタンを押す
- 2.録音したいパターンを「+」「-」ボタンで選択
- 3.RECORDボタンを押す
- 4.4拍のカウントダウン後、録音が始まります

メトロノーム音は録音はされません。

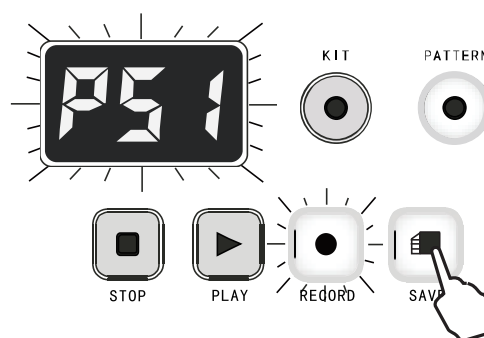


録音停止と保存

録音を保存したいときは、STOPボタンまたはSAVEボタンを押すと、パターン51として保存されます。RECORDボタンが消灯し、PATTERNボタンが点灯します。ディスプレイには、[P51]と表示されます。

設定した内容は、電源を切っても消えません。

KIT番号を押すと録音が終了し、キットモードになります。

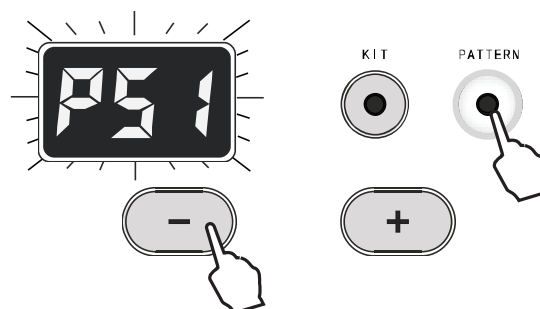


多重録音

パターン[P51]を選択し、RECORDボタンを押して、録音を開始すると前の録音に重ねて録音できます。

再生

パターンモードに入り、[P51]を選択し、PLAYボタンを押すと、録音した内容が再生されます。詳しくは、本書の<パターン演奏>の項をご参照ください。



USB & MIDI

MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は世界共通の電子楽器とコンピュータを繋ぐ通信インターフェースです。この通信インターフェースにより、MIDI機器と各種デバイスを使用してシステムを構築し、個別の楽器だけでは実現できない幅広いコントロールが可能となります。コンピュータ、シーケンサー、エクスパンダー他の機器を繋ぐことにより、音楽の可能性が大きく広がります。

本機はUSBオーディオ・デバイスとして認識されます。

MIDI APPLICATION CHART

Function	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	10	1-16	
Note Number	0-127	0-127	
Velocity: Note ON	1-127	0-127	
Note OFF	64	0-127	
Major Controls:			
B9h 04h xxh	Yes	X	Hi-Hat pedal control
Bxh 79h 00h	Yes	Yes	Reset All Controller
Bxh 7Bh 00h	Yes	Yes	All Notes OFF
Program Change	X	Yes *	
System Exclusive	Yes	Yes **	
RPN	X **	Yes **	
NRPN	Yes	Yes **	

※各々のパッドに対するチャンネル10を通した送信ノートは下表の値に固定。

PAD	NOTE		PAD	NOTE
Tom1	48		Ride	51
Tom2	45		Hi-Hat Open	46
Tom3	43		Hi-Hat Close	42
Snare	38		Hi-Hat Pedal	44
Snare Rim	37		Kick	36
Crash	49			

VOICE LIST

No.	Description	No.	Description	No.	Description
GM		041	HighAgogo	SNARE	
001	HighQ	042	LowAgogo	081	Snare 1
002	Slap	043	Cabasa	082	Snare 2
003	ScraPush	044	Maracas	083	Snare 3
004	ScraPull	045	ShortWhist	084	Snare 4
005	Stick	046	LongWhist	085	Snare 5
006	SquarClick	047	ShortGuiro	086	Snare 6
007	MetroClick	048	LongGuiro	087	Snare 7
008	MetroBell	049	Claves	088	Snare 8
009	KickDrum2	050	Hi W-Block	089	Snare 9
010	KickDrum1	051	Lo W-Block	090	Snare 10
011	SideStick	052	MuteCuica	091	Snare 11
012	SnareDrum2	053	OpenCuica	092	Snare 12
013	HandClap	054	MuteTriang	093	Snare 13
014	SnareDrum1	055	OpenTriang	094	Snare 14
015	LoFloTom2	056	Cabasa	095	Snare 15
016	CloseHH	057	Shaker	096	Snare 16
017	LowFloTom1	058	Belltree	097	Snare 17
018	PedalHH	059	Castanets	098	Snare 18
019	LowTom	060	MuteSurdo	099	Snare 19
020	OpenHi-hat	061	OpenSurdo	100	Snare 20
021	Low-midTom	KICK		101	Snare 21
022	Hi-midTom	062	Kick 1	102	Snare 22
023	CrashCymb1	063	Kick 2	103	Snare 23
024	RHighTom	064	Kick 3	104	Snare 24
025	RideCymb1	065	Kick 4	105	Snare 25
026	ChCymbal	066	Kick 5	106	Snare 26
027	RideBell	067	Kick 6	107	Snare 27
028	Tambourine	068	Kick 7	108	Snare 28
029	SplashCymb	069	Kick 8	109	Snare 29
030	Cowbell	070	Kick 9	110	Snare 30
031	CrashCymb2	071	Kick 10	111	Snare 31
032	VibraSlap	072	Kick 11	112	Snare 32
033	RideCymb2	073	Kick 12	113	Snare 33
034	HiBongo	074	Kick 13	114	Snare 34
035	LowBongo	075	Kick 14	115	Snare 35
036	MuteConga	076	Kick 15	116	Snare 36
037	HiConga	077	Kick 16	117	Snare 37
038	LowConga	078	Kick 17	118	Snare 38
039	HighTimbal	079	Kick 18	119	Snare 39
040	LowTimbale	080	Kick 19	120	Snare 40

No.	Description	No.	Description	No.	Description
TOM		151	Ride 4	181	HiHat 23
121	Tom 1	152	Ride 5	182	HiHat 24
122	Tom 2	153	Ride 6	183	HiHat 25
123	Tom 3	154	Ride 7	184	HiHat 26
124	Tom 4	CRASH		185	HiHat 27
125	Tom 5	155	Crash 1	186	HiHat 28
126	Tom 6	156	Crash 2	187	HiHat 29
127	Tom 7	157	Crash 3	188	HiHat 30
128	Tom 8	158	Crash 4	189	HiHat 31
129	Tom 9	HIHAT		PERCUSSION	
130	Tom 10	159	HiHat 1	190	Percussion 1
131	Tom 11	160	HiHat 2	191	Percussion 2
132	Tom 12	161	HiHat 3	192	Percussion 3
133	Tom 13	162	HiHat 4	193	Percussion 4
134	Tom 14	163	HiHat 5	194	Percussion 5
135	Tom 15	164	HiHat 6	195	Percussion 6
136	Tom 16	165	HiHat 7	196	Percussion 7
137	Tom 17	166	HiHat 8	197	Percussion 8
138	Tom 18	167	HiHat 9	198	Percussion 9
139	Tom 19	168	HiHat 10	199	Percussion 10
140	Tom 20	169	HiHat 11	200	Percussion 11
141	Tom 21	170	HiHat 12	201	Percussion 12
142	Tom 22	171	HiHat 13	202	Percussion 13
143	Tom 23	172	HiHat 14	203	Percussion 14
144	Tom 24	173	HiHat 15	204	Percussion 15
145	Tom 25	174	HiHat 16	205	Percussion 16
146	Tom 26	175	HiHat 17	206	Percussion 17
147	Tom 27	176	HiHat 18	207	Percussion 18
RIDE		177	HiHat 19	208	Percussion 19
148	Ride 1	178	HiHat 20	209	Percussion 20
149	Ride 2	179	HiHat 21		
150	Ride 3	180	HiHat 22		

仕様

ドラムパッド	8"タム×3、8"スネア、10"クラッシュ 10"ライド、10"ハイハット、キック、ハイハット・ペダル
ボイス	209
ドラムキット	20プリセット
パターン	50種類 ドラムパターンはミュート可能
メトロノーム	オン/オフ
パッドサウンド変更	ボイスとボリューム
録音	1演奏(上書き)
電源	9V DC
入出力端子	ヘッドフォン、ラインIn/Out、USB、電源、トリガー

PLAYTECH